

壁面緑化の害虫対策は？

いろんな植物を植える  
野鳥の住む環境をつくる

この環境センターに 4000 年 / 年訪れる

幼児 100 人  
小学生 500 ~ 600 人  
個人 800 人

エネルギー消費をいかに減らすかがテーマ

(自然界からエネルギーを造り出すことでなく)

化石燃料を効果的に使うこともテーマの一つ

木材を利用する(遠くから運んでエネルギーを来るよりも使うより地元の  
素材を使う方がエネルギーが少なくすむ

風力発電は北ドイツの海岸に多くあるが横ばい状況にある

水力発電は無理

将来はソーラーエネルギーに移行(可能性が大である)

水素エネルギーを考えている(燃やしても水になる)

モーターの排熱利用 病院、プールなど

建築家、都市計画家がエコロジーの勉強をしてくれると普及が図れる

建築基準法

建築の申請は許可制

基本的には新築はさせたくない

1 本当にそのような建築が必要であるか、広さが必要か

2 用途が相応しいか

3 同じ広さの敷地を求めそこに同じような生態系をつくる

4 自然が受ける打撃を最小限に押さえる

5 同じ価値のものを別の場所につくる必要がある

(木を植える、池をつくるなど)

価値判断は専門家が行う

6 自然を壊した分の慰謝料を払う方法

(その金を自然保護に活用する)

公共の緑はできるだけ消毒しない

家庭でも化学薬品で消毒しないような指導をしたり情報を流す

雑草は年 2 回程度しか取らない

エコロジーパーク

水車で発電 管理小屋の照明

桶で水汲み 水を流す 螺旋で水を汲み上げる 水槽に溜める 水の流れ方  
を知る

池 水車

ビオトープ

土壁づくりの体験